

[学習会]

予防原則を置き去りにした

日本の風力発電建設

海外、特にヨーロッパでは、自治体が行う政策や事業者が行う事業に対して、環境影響評価に加えて健康影響評価（HIA）を実施し、予防原則を守る努力をしています。イギリスではHIAの実施により、風車建設計画の1/4程度しか実施に至っていません。



多くの先進国がHIAの実施を制度化し、国民の健康を守る努力をしている一方、日本においては、事業者によるずさんな環境影響評価が横行。超巨大化、大規模化する風力発電計画が、次々とアセスを通過する事態となっています。HIAについて学び、日本の健康をないがしろにする異常な状況について考えます。



日時：2019年8月24日（土） 18時～20時

場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階 視聴覚室

（花川北3-2 ☎0133-74-6525）

講師：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表 安田秀子氏

費用：300円（資料代他）



石狩湾岸に建設されている風車群-手稲山からの眺望-（提供：山川泰弘氏）

主催・問合せ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田（☎090-6211-1602）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>